

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)

コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西岡 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々木 悟

TEL 03-5332-5374

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,173	13.3	96	13.6	96	14.6	88	71.7
25年12月期第2四半期	1,035	△28.4	85	△29.7	84	△13.6	51	△40.5

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 89百万円 (71.3%) 25年12月期第2四半期 51百万円 (△40.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	8.88	8.69
25年12月期第2四半期	5.41	—

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,860	1,593	1,593	1,593	84.1
25年12月期	1,725	1,485	1,485	1,485	85.6

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,476百万円 25年12月期 1,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,930	0.9	246	120.9	240	118.0	210	△18.9	21.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	10,011,300 株	25年12月期	10,011,300 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	200 株	25年12月期	200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	10,011,100 株	25年12月期2Q	9,566,349 株

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府経済対策の効果を背景に、企業収益や雇用情勢の改善等、緩やかな回復基調がみられたものの、海外景気の下振れや消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動等があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、平成26年上半年期の供給戸数が前年同期比20.2%減（民間調査機関調べ）となり、当第2四半期連結累計期間において厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,173百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益96百万円（同13.6%増）、経常利益96百万円（同14.6%増）、四半期純利益88百万円（同71.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移したものの、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力したことなどにより、順調に推移いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高554百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益142百万円（同54.0%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、営業体制の強化に伴う経費増があり、更なる顧客満足度の向上及び堅実な収益獲得を図りましたが、予想通りの利益を得られませんでした。

以上により、当第2四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高486百万円（同2.2%増）、営業利益35百万円（同23.8%減）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、所有土地やマンションの売却はあったものの、継続的に販売可能な物件の仕入れに苦戦しており、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高132百万円（同29.6%増）、営業利益3百万円（同76.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加いたしました。これは主に販売用不動産が207百万円増加したことなどによる一方、現金及び預金が83百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は1,860百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は233百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に未払金が8百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は32百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは主にその他が12百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総負債は266百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益88百万円及び新株予約権が19百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.1%（前連結会計年度末は85.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ80百万円の減少となり、当第2四半期連結累計期間の資金残高は、392百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は84百万円（前年同四半期比43.0%増）となりました。これは主に販売用不動産の増加などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は3百万円（前年同四半期は52百万円の使用）となりました。これは主に敷金及び保証金の回収による収入などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用及び獲得した資金はありません（前年同四半期は93百万円の獲得）。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（平成26年8月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477,009	393,484
受取手形及び売掛金	203,943	228,724
商品及び製品	431	328
販売用不動産	69,773	277,750
仕掛販売用不動産	—	60,672
原材料及び貯蔵品	2,356	2,588
仕掛品	1,066	200
前渡金	179,191	119,797
短期貸付金	474,484	474,364
未収入金	131,468	136,441
その他	14,293	12,145
貸倒引当金	△54,433	△66,205
流動資産合計	1,499,584	1,640,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,866	88,866
減価償却累計額及び減損損失累計額	△75,435	△75,749
建物及び構築物 (純額)	13,430	13,116
機械装置及び運搬具	1,696	1,538
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,696	△714
機械装置及び運搬具 (純額)	0	824
工具、器具及び備品	17,495	17,715
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,435	△16,637
工具、器具及び備品 (純額)	1,059	1,078
土地	3,248	3,248
リース資産	13,622	17,322
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,547	△8,218
リース資産 (純額)	7,075	9,104
有形固定資産合計	24,813	27,372
無形固定資産		
のれん	23,310	17,931
その他	403	403
無形固定資産合計	23,714	18,335
投資その他の資産		
投資有価証券	30,114	30,295
出資金	82,181	82,181
破産更生債権等	620,838	622,622
その他	92,930	89,694
貸倒引当金	△621,001	△622,739
投資損失引当金	△27,713	△27,713
投資その他の資産合計	177,348	174,340
固定資産合計	225,876	220,047
資産合計	1,725,460	1,860,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,580	19,461
未払金	140,329	148,381
未払法人税等	24,518	25,348
預り金	7,624	5,481
売上値引引当金	326	306
アフターコスト引当金	703	647
その他	28,622	33,929
流動負債合計	219,704	233,555
固定負債		
退職給付引当金	5,149	5,263
その他	14,973	27,589
固定負債合計	20,122	32,853
負債合計	239,827	266,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,782,061	1,782,061
資本剰余金	314,414	314,414
利益剰余金	△619,725	△530,816
自己株式	△290	△290
株主資本合計	1,476,459	1,565,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152	5
その他の包括利益累計額合計	△152	5
新株予約権	9,326	28,555
純資産合計	1,485,633	1,593,930
負債純資産合計	1,725,460	1,860,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,035,975	1,173,649
売上原価	546,217	627,123
売上総利益	489,757	546,526
販売費及び一般管理費	404,425	449,624
営業利益	85,332	96,901
営業外収益		
受取利息	11,770	11,772
受取配当金	23	0
その他	3,187	2,139
営業外収益合計	14,981	13,911
営業外費用		
支払利息	181	177
貸倒引当金繰入額	11,761	11,761
消費税控除対象外	2,731	2,135
その他	1,535	338
営業外費用合計	16,209	14,413
経常利益	84,104	96,399
特別利益		
違約手数料戻入益	—	15,800
特別利益合計	—	15,800
特別損失		
固定資産除却損	—	13
デリバティブ評価損	20,760	—
特別損失合計	20,760	13
税金等調整前四半期純利益	63,344	112,186
法人税、住民税及び事業税	11,430	22,848
法人税等調整額	130	428
法人税等合計	11,560	23,277
少数株主損益調整前四半期純利益	51,783	88,909
四半期純利益	51,783	88,909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,783	88,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200	158
その他の包括利益合計	200	158
四半期包括利益	51,984	89,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,984	89,067

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	63,344	112,186
減価償却費	2,131	2,260
のれん償却額	5,379	5,379
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,171	13,509
売上値引等引当金の増減額 (△は減少)	△54	△19
アフターコスト引当金の増減額 (△は減少)	490	△56
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△778	114
株式報酬費用	3,485	19,229
デリバティブ評価損益 (△は益)	20,760	—
受取利息及び受取配当金	△11,794	△11,772
支払利息	141	177
売上債権の増減額 (△は増加)	△270	△24,590
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△1,009	△1,783
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△581	737
販売用不動産の増減額 (△は増加)	50,912	△207,976
仕掛販売用不動産の増減額 (△は増加)	△57,582	△60,672
前渡金の増減額 (△は増加)	△109,091	59,393
前払費用の増減額 (△は増加)	2,392	3,127
未収入金の増減額 (△は増加)	11,871	6,789
仕入債務の増減額 (△は減少)	550	1,881
未払金の増減額 (△は減少)	△7,442	8,052
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,715	4,019
預り金の増減額 (△は減少)	5,917	△2,142
預り保証金の増減額 (△は減少)	—	11,067
その他	△20,503	△3,242
小計	△52,274	△64,331
利息及び配当金の受取額	32	10
利息の支払額	△141	△177
法人税等の支払額	△6,441	△19,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,824	△84,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△600
定期預金の払戻による収入	—	3,600
有形固定資産の取得による支出	—	△4,819
敷金及び保証金の差入による支出	△681	△343
敷金及び保証金の回収による収入	1,392	3,280
預け金による支出	△4,490	—
先物取引差入証拠金による支出	△45,510	—
その他	△1,393	2,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,484	3,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	93,150	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	93,150	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,158	△80,524
現金及び現金同等物の期首残高	400,416	473,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	382,258	392,884

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスクエア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	457,556	476,229	102,189	1,035,975	—	1,035,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	457,556	476,229	102,189	1,035,975	—	1,035,975
セグメント利益	92,344	46,720	16,927	155,993	△70,661	85,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△70,661千円には、のれん償却額△5,379千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△65,281千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスクエア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	554,421	486,788	132,439	1,173,649	—	1,173,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	554,421	486,788	132,439	1,173,649	—	1,173,649
セグメント利益	142,251	35,597	3,903	181,752	△84,850	96,901

(注) 1. セグメント利益の調整額△84,850千円には、のれん償却額△5,379千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△79,471千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。